

阿南 ぶらりまち紀行

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見！

～地域の輝き～ 第117回



子育てサポートグループ
「すくすくイン 阿南」

子どもは未来の「社会」を担う要であり、次代を形づくるさまざまな可能性や能力を秘めている。本格的な人口減少社会が到来する中、少子化の進行や核家族の増加など、子育てをする家庭を取り巻く環境が大きく変わってきた。子育て支援の充実が急務となっており、市では「阿南市子ども・子育て支援事業計画」を策定（平成27年3月）するなど、社会全体で子どもの健やかな成長や子育てを支援しようと取組が始まっている。

こうした中、退職した元保育所長や元幼稚園長で作る子育てサポートグループ「すくすくイン 阿南」は、自らの知識や経験を社会に還元したいと、16年前から「つどいの広場」を開催している。0歳から保育所、幼稚園へ入るまでの子どもと保護者がつどい、月に10回前後、主にひまわり会館などで行われている。多い日には65組以上も集まり、部屋がいっぱいになるほどだ。会員の皆さんは子どもが遊ぶ姿を見守り、ときには遊び方



会場は笑顔に満ちている



ボールプールは大人気だ



手遊びや紙芝居に子どもが集まる



後片付けも学びの一つ

を誘導するほか、手遊びや紙芝居、絵本の読み聞かせ、子育て一言アドバイスなど、子どもの成長過程に合わせたメニューに工夫を凝らしている。子どもたちは、同年代の子どもと、遊具やおもちゃで楽しそうに遊び、社会性を育んでいる。また、できるだけ自由な雰囲気づくりを努めているので、同じ育児をする保護者同士の会話も弾みやすい。ママ友と打ち解けた中で語り合うことで、精神的な安心感を得ることができる。

会員の清水節子さん（見能林町）は、「私たちが何かしてあげているというのではなく、子どもから学び、元気をもらっているんですよ」と話す。「来てくれる子どもと深く係わると、生命誕生のときめきや、立ちあがる、歩く、話すなど成長過程に応じ、その子の保護者と共に感動を分かち合うことができます。まさに愛情の相乗効果。会場は、いきいきとした笑顔に包まれていて、子どもたちの輝かしい未来が見えるようだ。